



# 交通安全市民会議 ニュース



## 雨が降る日は事故が多発!

### 事故防止には車のチェック&メンテナンスが大切です



雨の日は視界が悪化し、「追突事故」や「歩行者や自転車に接触する事故」、水たまりによる「スリップ事故」など交通事故が多発します。雨の日は、「速度を落とす」、「車間距離をあける」、「ハンドルをしっかり持つ」など運転の心構えが重要ですが、

事故防止のために、運転前に車のチェックとメンテナンスをしておくことも大切です。

#### 古いワイパーを交換して視界を良好に!

ワイパーのゴムやブレードが劣化していないかチェックしましょう。



交換するタイミングは、ワイパーを動かしたときに次のような症状が出たときです。

- ・スジ状の線が残る
- ・ビビビという音がする
- ・拭きムラがでる
- ・水がにじんで残る

#### 窓ガラス、サイドミラーの汚れを取ろう!

ガラスやサイドミラーはカーシャンプーなどで油膜の汚れを取り除き、それぞれ専用のコーティングを塗布すると、水をはじき良好な視界を保つことができます。

雨が降ると油膜がつきやすくなるので、こまめにお手入れをしましょう。

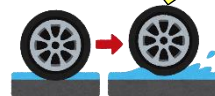


#### タイヤの摩耗をチェックしよう!

タイヤが摩耗することで、「スリップ事故」や「※ハイドロプレーニング現象」が起こりやすくなります。タイヤの溝が4割ほど減っていたら交換の目安です。



※ハイドロプレーニング現象…水たまりを走行中に起きる現象で、タイヤと路面の間に水が入ることで車がアイススケートのように滑ってハンドルやブレーキが効かなくなること



## 短時間の大雨の際はアンダーパスの冠水に注意!

道路や鉄道などと立体的に交差している道路で、前後に比べて道路の高さが局部的に低くなっている区間(アンダーパス部など)は、地形的に特に雨水が集中しやすくなっています。

通常の降雨では支障ありませんが、局地的な短時間の大雨により雨水が急激に集中すると、一時的に道路が冠水し通行に支障をきたす恐れがあります。冠水事故を防止するため、大雨時の冠水情報を表示する「冠水警報装置(情報板)」や水深を示す「路面表示」などを確認し、冠水時には必ず迂回してください。

(愛知県 HP より抜粋)



冠水5cmで「通行注意」



冠水10~15cmで「通行止」

迂回しよう!

